

p 18 □1インターネット接続

インターネットを利用してビジネスを行う⇒消費者とデータのやり取りする必要がある。

そこで、必要となるのが、情報通信ネットワーク

情報通信ネットワークのしくみはどうなっているのかを理解し、情報通信ネットワークを提供する側が社会に果たす役割とは、ポイント①インターネットサービスプロバイダ (ISP) とは

②通信回線について学ぶ

①インターネットサービスプロバイダーとは

インターネット接続を希望する企業や家庭などに対し、インターネット接続サービスを提供
公共的なインフラ⇒社会的責任が大きい

(1) インターネットプロバイダの付加サービスを次を書いてみてください。

ア.インターネット接続サービス (主サービス)

イ.

ウ.

エ.

オ.IP 電話

カ.VOD (video on demand)

キ.企業向けなどに専用回線接続サービス

ク.VPN (virtual private network)

ケ.ドメイン名取得手続きの取り次ぎ

コ.ASP (application service provider)

(2) インターネットサービスプロバイダの役割について次にまとめて書いてください。

(3) **プロバイダ責任制限法**

正式名は、「特定電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発信者情報の開示に関する法律」
プライバシーなどが侵害された場合、プロバイダはどのような責任を負うかを明確にするために
作られた法律ですが、具体的にどのような内容なのか次にまとめて書いてください。

□2通信回線

①ブロードバンド…高速な通信を可能とする回線の総称

(1) ADSL (asymmetric digital subscriber line) 回線…非対称デジタル加入者線

(2) CATV 回線…ケーブルテレビ用の同軸ケーブルを利用した回線

(3) FTTH回線 (fiber to the home) …インターネットに接続するため光ファイバを家の中まで引き込んだ回線

(4) 専用線…企業が通信会社から借り受けた専用の通信回線

ナローバンドとは…

②無線回線

① 3G

② 3.5G

③ 3.9G

④ 4G

⑤ 5G

②インターネットと個人情報

個人情報の重要性を理解し、ビジネスに必要な個人情報の扱い方を考える。

①電子商取引と個人情報⇒個人情報保護法

②個人情報を扱う場合の対応

(1) Web ページでの対応

(2) SSL (secure socket layer) 暗号化通信の利用

(3) 電子メールによる不特定多数への同報配信

③個人情報の収集と保管

(1) 個人情報の収集

(2) 個人情報の保管場所

(3) 個人情報の漏洩事故の原因

③インターネットと知的財産

情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報を行う際には知的財産に注意を払う必要がある。

①知的財産

②著作権侵害と引用

引用の条件を次にまとめて書いてください。

ア
イ
ウ
エ
オ
カ
キ

③商標とドメイン名

ドメイン名は、先着順に取得できる先願主義

他の商標とドメイン名の関係性について次に書いてみてください。